

■松平治郷(不昧) 松江藩主、茶人。朝日茂保用いて藩政改革、生じた財政的ゆとりで茶道具蒐集し、不昧流を確立。

まつだいらはるさと

徳川吉宗没・1751= 出雲国松平家第6代松江藩主宗衍の嫡子に生まれる。

薩摩藩工事・1753= 2歳：置髪礼、

自然真管道・1755= 4歳：着袴礼、

源内物産会・1757= 6歳：細井九臯に書を習う。
1758= 7歳：儒臣宇佐美恵助から初の句読。

大岡忠光没・1760= 9歳：

・・・1763=12歳：弓・槍・剣術を習い始める。

蘭銭初輸入・1765=14歳：山鹿流兵書を聞くなどして、

明和事件・・・1767=16歳：*襲封。襲封は家老朝日丹波による御立派の改革政治の第一着手として行われ、父宗衍は38で隠居させられた。徹底した綱紀肅正と行政改革、勸農抑商と貢租増徴で藩財政の赤字を解消した改革政治であった。

久留米藩工事1768=17歳：石州流の伊佐幸琢(將軍御数寄屋頭)に入門し、初めて正式に茶道を学び、

・・・1769=18歳：禅も始め、茶禅一味の茶風をつくり、

・・・1770=19歳：早くも「贅言」を記して、茶道が修身治国の資となることを述べ、伊佐幸琢から伝授されたことから、

田沼意次老中1772=21歳：*不昧の号をつけてもらったことから、不昧流は石州流の一派とされる。不昧の号は「無門関」にある「不落不昧」の語にちなむという。

朝日丹波の藩政改革によって生じた財政的ゆとりが、茶道への没入を可能にし、茶道具収集の美術愛好家として知られるようになり、

ツツ船蝦夷来 1778=27歳：

蘭学階梯・・・1783=32歳：*朝日丹波が死去し、以後、御直掬として、直接政治を行うようになる。

田沼意次失脚1786=35歳：

寛政改革始・1787=36歳：名物茶器の研究し「古今名物類聚」をまとめ、序文を書き、

初の横綱・・・1789=38歳：出版すると、評判になり、さらに研究を進め、

混浴禁止・・・1791=40歳：再版、

ウクスン来日・1792=41歳：松江の菅田山荘に不昧好みの茶室菅田庵を建築。

松平定信引退1793=42歳：

ウツク正月・1794=43歳：三版、

プロトノ来航・1796=45歳：

昌平饗始・・・1797=46歳：四版まで、「古今名物類聚」十八巻の著作となり、大名物・名物・中興名物の分類などを行った。

アメリカ船来航始1803=52歳：江戸品川の高台に2万坪の土地を求め、

青洲麻醉手術1805=54歳：

イザノ報復・1806=55歳：*大崎名園をつくと、致仕。隠退して剃髪し、不昧の号をみずから使い、そこを隠居所とした。

ゴロブニノ拿捕 1811=60歳：「古今名物類聚」を要約した「瀬戸陶器濫觴」を刊行。この年の道具帖に名器518点所蔵、

黒住教・・・1814=63歳：

水野忠成老中1818=67歳：没した。